

全国児童青年精神科医療施設協議会会員施設

1. 学会の会員構成等

22施設（正会員15ヶ所、オブザーバー7ヶ所）

会員 463名

児童精神科医 76名

- | | |
|--------------------------------|-----|
| (1)一般の小児科医・精神科医 | 0人 |
| (2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 | 34人 |
| (3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師 | 42人 |

2. 対象疾患領域等

ICD-10でF0～9に属する疾患で幼児から18歳～20歳までの児童青年の精神及び行動の障害が対象。

- ・入院治療を行っている疾患で多いのが広汎性発達障害、神経症性障害、統合失調症、行動及び情緒の障害（AD/HD、行為障害、社会的機能の障害）、摂食障害である。
- ・同じく虐待を受けた子どもの入院も多い。
- ・外来はICD-10全ての疾患にわたっている。

3. これまでの取り組み

○研修会あり。（※研修会参加者：他職種混合）

- ・平成14年度 新潟県立精神医療センター主幹
「高機能広汎性発達障害児の治療と教育的支援」10施設発表、参加人数192人
- ・平成15年度千葉市立青葉病院主幹
「統合失調症」14施設発表、参加人数199人
- ・平成16年度大阪市立総合医療センター主幹
「解離をめぐる」14施設発表、参加人数226人
- ・研修会の内容について
年1回3日間をかけ、1施設1演題とし、テーマに沿った入院治療症例を発表している。
基本的には翌年度のテーマに沿って1年間の研究取り組みを多職種チームを組んで行う方法をとっている。

○全国児童青年精神科医療施設協議会会員施設のうち2ヶ所

（東京都立梅ヶ丘病院と国立精神・神経センター国府台病院）はレジデント教育プログラムを持っている。